



災害予防 30 周年の歩み



危険物に関する安全確保を目的とする石狩北部地区危険物安全協会当別支部が設立 30 周年を迎え、記念祝賀会が開催されました。

会員、関係者ら約 50 名が出席し、堀川和雄支部長から「今後も徹底した安全管理を行い、災害を未然に防ぎたい」と誓いがありました。

また、設立 30 周年を記念して、同支部から町教委へ AED(自動体外式除細動器)の寄贈がありました。

(4月16日 弥生 田西会館)

当別大通で清掃ボランティア



町内の各学校の入学式も終わり、新入生たちが一斉に街を歩き始めるこの時期、当別の顔となる当別大通をきれいにしようと、河村工業㈱、新昌建設㈱、宮永建設㈱がボランティアで清掃活動を行いました。

JR 石狩当別駅から国道 275 号の間を、3 社で分担して、歩道、車道脇、路側帯に残った砂ぼこりや、雪融け後に雪の下から出てきたゴミなどを、きれいに片付けました。

(4月5日・7日 弥生 当別大通)

人権擁護委員へ感謝状



林朋子さん(元町)が3月31日付で2期6年務められた人権擁護委員を退任することから、法務大臣から感謝状の贈呈があり、泉亭町長から伝達が行われました。

(4月10日 当別町役場)

広 告

交通事故の無い社会を目指して



春の交通安全運動期間の、4月10日「交通事故死ゼロを目指す日」に合わせて、セーフティーコールが行われました。

北海道警察の白バイ隊員をはじめ、町内の交通安全関係団体、各町内会関係者、児童ら総勢350名が、スピードダウン、飲酒運転の撲滅など交通安全を訴えるメッセージが書かれた手旗やのぼりを手にし、当別大通を走行する車一台一台のドライバーに向けて、事故の防止を呼びかけました。

(4月10日 弥生 当別大通)

北帰行 当別で羽休め



春になると雪融けの田んぼなどで白鳥の群れが一休みする光景が目につきます。町内で一休みした後には白鳥たちはロシア方面に向かって旅を続けます。

(4月10日 中小屋)



告 白